



# 皇儲御誕生 奉祝記念事業

## 本郡好問村

皇紀二千五百九十四年元旦ノ聲ガ全日本國民ノ間ニ澎  
 於郷社熊野神社前宮齋文 演トシテ勃興シテ居ル所以  
 御名明仁親王 御稱號總宮デアル  
 (宮内省告示)二十九日午前日本民族的發展カラ全世界  
 十一時五分左ノ通り御發表 人類ノ文明轉換期ニ、畏  
 ニナツタ  
 (宮内省告示第三十三號)本 意深ク御降臨ガアラセラ  
 月二十三日午前六時三十九分ノテアル、日本天孫民  
 分御誕生アラセラレタル親族ノ光榮ノ事、日本天孫民  
 王御名明仁ト命セラレ繼宮 祝福スベキ一大事デアル、  
 ト稱セラル  
 昭和八年十二月二十九日 無窮ノ日ノ出ニ意味深長ガ  
 宮内大臣 湯淺倉平アル

第一、記念事業趣旨  
 日ノ出皇子ノ御誕生ハ日 集シ日ノ出ヲ拜シ皇居ヲ遙  
 嗣ノ皇太子殿下ニアラセラ 拜シ皇儲ノ彌榮ヲ同社ニ  
 ル、誠ニ以テ意味深長テア 祈願スルコト  
 然モ朝日輝ク日ノ出御時 當日ハ特ニ日ノ出ヲ期シ  
 刻ニ御誕生アラセラレタル 花火三發揚グ祝意ヲ表シ  
 ハ神意ノ致ス所、天神地祇 尙ホ從來行ハタル同禮ハ  
 ノ御加護デアリ、畏クモ吾 爾今當朝ノ行事ニ代ヘテコ  
 ガ皇室ノ彌榮ガ神明ニ御達 レヲ期シ向フ十五ヶ年間ヲ  
 シナサレタルコト、拜察シ 第一期トシテ元旦日ノ出ニ  
 奉リ、上御一人ノ御禮悦ハ 百錢貯金會ヲ計畫スルコト  
 下萬民ノ歡喜無限ニシテ到 第二期 毎月一日日ノ出ヲ  
 底言紙ニ盡シ難イ一大使命 期シ全村郷社熊野神社ニ參  
 ガアル 集シ日ノ出ヲ拜シ皇居ヲ遙 心境を申上候  
 昭和八年世界文明史上、特 拜シ皇儲ノ彌榮ヲ同社ニ  
 筆スベキ内外多難ノ非常時 祈願スルコト  
 デハアツタガコレハ吾ガ國 當日ヨリ向フ十五ヶ年間  
 巡ガ下向線ニ向ツテ非ルノ 第一期トシテ日ノ出禮儀  
 デハ斷ジラナク、更ニ神國 献金(貯金)會ヲ組織シコ  
 日本ガ偉大ナル一大飛躍ト レガ資金ハ、社會公共ノタ  
 大發展ヘノ、試練危機ヲ通 メニ奉仕スル計畫ヲナスコ  
 過シテ非ルノデ、昭和維新ト

右宣言ス。  
 昭和九年一月一日  
 好問村長 金成淺治  
 好問尋校長 高橋武雄  
 好問尋高校長 吉田庄太郎

### 音信交換 岡田先生より

謹賀新年  
 御兩所様益々御清榮ニ母校  
 クモ繼宮明仁親王殿下ノ御  
 爲同窓會の爲特別御高配  
 なし被下候由誠に肝銘に堪  
 へざる次第に御座候深ク御  
 禮申上候  
 過日關内會長慶徳々上京之  
 上御招待に預リ又新田目君  
 コレヲ記念スル所ニ、天壤  
 無窮ノ日ノ出ニ意味深長ガ  
 厚ふし海に感謝に堪へざる  
 次第に御座候  
 御承知の通り休質上の欠儀  
 置かざる様茲に改めて御願  
 申上候  
 再度の御厚情に對シ貴客申  
 上候如斯に御座候 勿々  
 一月一日  
 東京淺草區鳴町七〇  
 岡田毅三郎  
 關内同窓會長様  
 新田目君様

### 荒木先生より

拜啓今回は数にも足らぬ  
 老生に對シ聲中同窓會諸君  
 より御禮重なる御書讀を蒙  
 り候のみならず御書讀や  
 御電報やらの揚貴君の遙  
 々御禮を辱ふし恐縮や  
 御電報やらの揚貴君の遙  
 々御禮を辱ふし恐縮や  
 御電報やらの揚貴君の遙  
 々御禮を辱ふし恐縮や

### 北條先生より

さて、今御禮を申上ます  
 感じし事はありませぬ蓋し  
 野生生活に對してこれが絶  
 後の歡樂であると思ひます  
 二十年前の御地中學校教  
 育に於て遺憾の點のみ思ひ  
 出されて居入つて居ります  
 野崎縣議を通じて多額の金  
 員寄贈に對して謝意を表し  
 たいと思つて居ります

### 玉川陸會誕生

玉川村出身にして平町在  
 任者新年懇親會を去る一月  
 十四日午後六時より松本に  
 於て野崎縣議、小松町議、  
 山野邊縣議士發起の下に開  
 催、右發起人の挨拶等あり  
 出席員の出身大字現住所、  
 姓名左の如く頗る盛會であ  
 った。

### 磐中武道大會

兼乘稽古納會  
 磐中校では来る三十日午  
 前十時より寒稽古納會を兼  
 ね武道大會を開催す。

### 知人消息

元磐中教諭たりし仙臺市  
 は開催に際し發起人及び小  
 田吉治氏が此の會合に當り  
 人は去月十八日永眠された  
 野崎縣議を通じて多額の金  
 員寄贈に對して謝意を表し  
 たいと思つて居ります

を深ふし自らあきらめ居る  
 次第に御座候  
 石橋之次第に折角之御申  
 好問尋校長 高橋武雄  
 好問尋高校長 吉田庄太郎  
 候間不惡御許の程御願申上  
 候 御地御在留の酒井、室  
 先生等は定めし御出席に相  
 成候なるべく荒木君北條君  
 などは小生とは事情も異り  
 御努力を以て割れ御謝状を  
 候に付御出席下さる事と信  
 じ度く如上の諸君並御同窓  
 御來會の各位に可然御禮登  
 の程御願申上候  
 尚先郵には聲城會館の件に  
 なご申上失禮いたし候も昨  
 年中小石川原町の聲城造土  
 並に小石川原町の聲城造土  
 會の現状など拜見して痛く  
 感佩させられ結果思はず筆  
 走り候次第に付餘り重きを  
 置かざる様茲に改めて御願  
 申上候  
 再度の御厚情に對シ貴客申  
 上候如斯に御座候 勿々  
 一月一日  
 東京淺草區鳴町七〇  
 岡田毅三郎  
 關内同窓會長様  
 新田目君様

それがストライキによ  
 野生の微忱を御酌み取り各  
 位に御禮の程を祈ります  
 が今は英傑輩出して此の位  
 校を飾つて居るのに今以て  
 校を飾つて居るのに今以て  
 校を飾つて居るのに今以て  
 校を飾つて居るのに今以て

野田 南町 小松 茂  
 大原 田町 松田賢雄  
 任吉 田町 野崎喜八郎  
 南町 永山ケン  
 渡邊 順  
 三丁 駒木根忠敬  
 田町 石井金治  
 才地 鈴木佐市郎  
 三丁 山野邊庄吉  
 一丁 星野久吉  
 三丁 山野邊庄吉  
 新川 永井謙治  
 鐵道 橋本 勇  
 大原 堂前 渡邊庚三  
 高島 郵便局 遠藤七郎平  
 住吉 久保 齋藤嚴夫  
 大原 田町 鈴木健太郎  
 南町 鈴木健太郎  
 南町 馬目清一  
 南町 古銀治 馬目 忠

藤沼醫院 内科、小兒科、平町紺屋町 電話五〇七番